

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-121812

(43)公開日 平成6年(1994)5月6日

(51)Int.Cl.⁵

A 6 1 F 13/72

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7729-4C

A 6 1 F 13/ 16

3 5 0

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号

特願平4-317689

(22)出願日

平成4年(1992)10月13日

(71)出願人 592167422

株式会社アリスアドベンチャー

宮崎県宮崎市老松1丁目4番31号

(72)発明者 今村 秀子

宮崎県宮崎市老松1丁目4番31号 株式会

社アリスアドベンチャー内

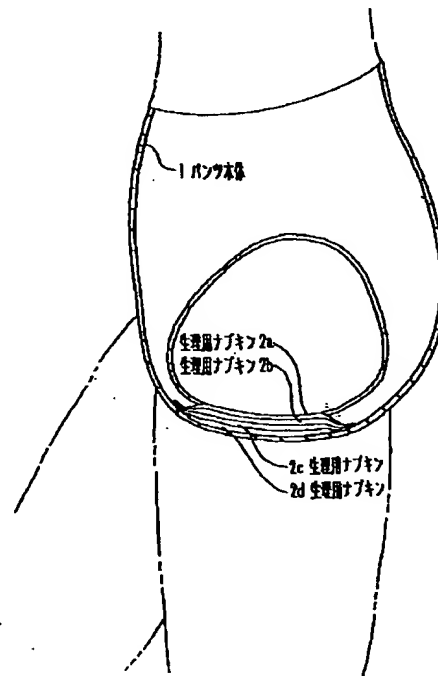
(74)代理人 弁理士 衛藤 彰

(54)【発明の名称】 生理用パンツ

(57)【要約】

【目的】長時間装着可能で、予備の生理用ナプキンを常時携帯する必要がなく、また生理用ナプキンをその都度パンツに装着する必要のない生理用パンツを提供する。

【構成】化学繊維、紙等を素材として形成されたパンツ本体1の底部に、生理用吸収素材5の下面を防水シート6により被覆し、その両端部に1枚ずつ剥離可能な接着部4を設けた生理用ナプキンを複数積層固着する。



Best Available Copy

【特許請求の範囲】

【請求項1】 パンツ本体の底部に防水シートを備えた生理用ナブキンを固着し、該生理用ナブキンの上部にそれぞれ防水シートを備えた複数の生理用ナブキンを、一枚ずつ剥離可能に積層固着したことを特徴とする生理用パンツ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、女性が生理期間中に使用する生理用パンツに関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来、女性が生理期間中に使用する生理用品は、パンツとは別に作られたナブキンをその都度パンツの底部に固定して使用しているのが通常である。そして、この生理用ナブキンの吸収能力が一杯になれば、その都度パンツを脱ぎ、使用済の生理用ナブキンを脱し、別の新しい生理用ナブキンをパンツ底部に固定して使用している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記のようにその都度新しい生理用ナブキンをパンツ底部に固定する場合、新しい生理用ナブキンを携帯してトイレに行かねばならず、職場や学校等では男性からの視線が気になると共に、新しいナブキンと交換する際に汚れが足に付着したりして女性に不快感を与えている。また、生理期間中の女性は交換用の生理用ナブキンを常に携帯しなければならないという問題点がある。本発明は、上記のような問題点に鑑み、交換用の生理用ナブキンの携帯が必要なく、かつ交換に伴う不快感を除去できる生理用パンツを提供することを目的とするものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 このため本発明では、パンツ本体の底部に防水シートを備えた生理用ナブキンを固着し、該生理用ナブキンそれぞれの上に防水シートを備えた複数の生理用ナブキンを、一枚ずつ剥離可能に積層固着したものである。

【0005】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1は、本発明に係る生理用パンツの平面図、図2は、図1におけるA-A断面図、図3は、生理用ナブキンの積層状態を示す断面図、図4は、生理用ナブキンの端部の拡大図、図5は、生理用パンツの着用状態を示す斜視図である。

【0006】 図1に示すように、化学繊維、紙等を素材として作られた使い捨てができるパンツ本体1の底部には、略長方形に形成された複数の生理用ナブキン2が積層配置されている。図2、図3、図4に示すように、各生理用ナブキン2a、2b、2c、2dは、被覆シート4、生理用吸収材5、防水シート6から成っている。この生理用ナブキン2aの両端部には、図4に示すように

被覆シート4の上面に剥離可能な剥離紙7aが設けられ、また被覆シート4の下面には接着剤7bが塗布された防水シート6が固着されている。生理用ナブキン2aは、パンツ本体1に接着固定されており、同様に構成された生理用ナブキン2b、2c、2dが生理用ナブキン2aの上面に、順次剥離紙と接着剤とによりそれぞれの生理用ナブキンが一枚ずつ剥離可能でかつ、通常時では剥離しないように積層されて接着されている。

【0007】 次に本実施例の作用について説明する。パンツ本体1を着着後、生理用ナブキン2aの吸収能力が一杯になったら、パンツ本体1を脱ぎ、生理用ナブキン2aを生理用ナブキン2bから剥離させる。このとき生理用ナブキン2dと生理用ナブキン2cとはその両端部が生理用ナブキン2cの剥離紙7aと生理用ナブキン2dの接着剤とで固着されているので、容易に剥離することが出来る。次に、生理用ナブキン2bに更新使用するため、パンツ本体1を再度装着する。生理用ナブキン2bの吸収能力が一杯になったら、再度パンツ本体1を脱ぎ、生理用ナブキン2bを生理用ナブキン2cから剥離させ廃棄する。生理用ナブキン2cについても同様の手順を繰り返して使用する。最後の生理用ナブキン2d使用後は、パンツ本体1と一緒に廃棄する。このように、生理用ナブキンが複数積層されて生理用パンツに固定されているので、従来のように新しい生理用ナブキンをパンツ本体に固定する作業が必要がなく、生理用ナブキンを使用後順次剥離させ廃棄するだけで済むので、毎回新しい生理用ナブキンをパンツ底部に固定する作業が必要なくなると共に、交換用の生理用ナブキンを常時携帯しておく必要がなくなる。

【0008】 尚、上記実施例においては、生理用ナブキンを一枚ずつ剥離可能に積層固着する方法として剥離紙と接着剤を用いたが、これに限定されるものでなく他の方法、例えばマジックテープ（登録商標）を用いてもよい。

【0009】

【発明の効果】 以上のように本発明では、パンツ本体の底部に防水シートを備えた生理用ナブキンを固着し、該生理用ナブキンそれぞれの上に防水シートを備えた複数の生理用ナブキンを、一枚ずつ剥離可能に積層固着したので、従来のように、生理期間中の女性が生理用ナブキン交換のために、交換用の生理用ナブキンを常に携帯する必要がなくなると共に、交換に伴う不快感を除去出来るというすぐれた効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る生理用パンツの平面図である。

【図2】 図1におけるA-A断面図である。

【図3】 本発明に係る生理用ナブキンの積層状態を示す断面図である。

【図4】 本発明に係る生理用ナブキンの端部の拡大図である。

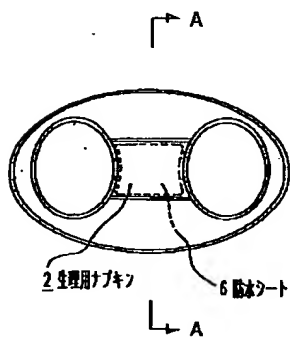
【図5】本発明に係る生理用パンツの着用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

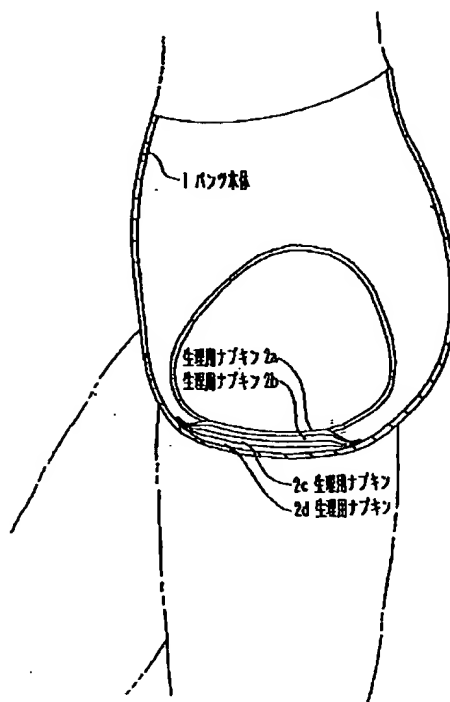
- 1 パンツ本体
2 生理用ナブキン
2a 生理用ナブキン
2b 生理用ナブキン
2c 生理用ナブキン

- 2d 生理用ナブキン
4 被覆シート
5 生理用吸収素材
6 防水シート
7 接着部
7a 剥離紙
7b 接着剤

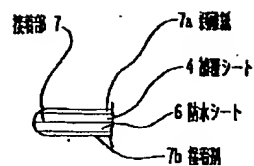
【図1】



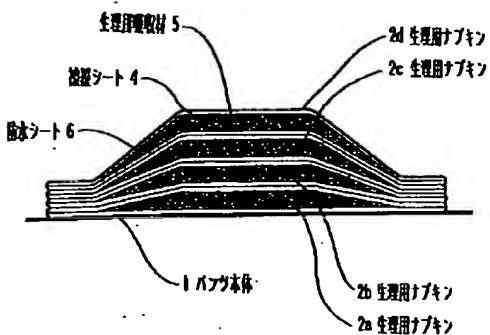
【図2】



【図4】



【図3】



【図5】

